



# たんぽぽ

戸田市立喜沢小学校

令和8年3月26日

春休み号

【学校教育目標】

「夢と希望をもち、  
よりよい社会づくりに向け  
行動する児童の育成」

修了おめでとうございます

校長 加藤 貴嗣

本日は修了式。子供たちの1年間の努力を称えるかのように、校門前の桜も蕾を大きく膨らませ、春の訪れとともに子供たちの節目の日を静かに彩っていました。各教室では、令和7年度的全教育課程を修了したことを証する修了証が、担任から子供たち一人一人に手渡されました。

先日24日には、第58回卒業証書授与式を挙行いたしました。6年生74名が、6年間の学びの集大成にふさわしい堂々とした姿で卒業証書を受け取る姿は、大変頼もしく感じられました。

喜沢小学校では、「自分から考えて行動しよう」「自分もみんなも大切にしよう」「あきらめないでやりきろう」を「3つの大切」とし、学校のリーダーである6年生を中心に、全校児童一人一人が『学校生活が楽しい』と言える喜沢小を創る」ために主体的に行動することを目標としております。本年度も、全校児童が協力し合い、よりよい学校生活を実現しようと自ら考え行動する姿が、様々な場面で見られました。

4月からは、進級して上級生となる現在の1～5年生が、この目標を引き継ぐこととなります。入学してくる新1年生とともに、「自分から考えて行動する」「自分もみんなも大切に」「あきらめないでやりきる」という喜沢小学校の「3つの大切」を意識しながら、学校生活をよりよいものにしていく姿を期待しています。

さて、本年度は、誰一人取り残されない「主体的・対話的で深い学び」の実現を教育活動の重点として取り組んでまいりました。学習のねらいの達成に向け、自分に合った学び方を選択したり、自らの興味・関心に応じて学びを深めたりする個別最適な学びと、他者との関わりの中で考えを形成していく協働的な学びの充実を図ってまいりました。また、学校生活の身近な課題についてよりよい解決策を考え、望ましい行動につなげていくPBS（ポジティブ行動支援：よい行動を認め伸ばしていく取組）等を通して、一人一人が学びや課題を自分事として捉え、自ら考え、最後までやり遂げようとする力の伸長が見られました。

ご家庭では、お子さんの成長を感じられたでしょうか。本日お渡しした通知表は、評価であると同時に、お子さん自身が1年間の学習や生活を振り返り、自らの努力や成長を確かめ、次の目標を考えるためのものでもあります。ぜひ、ご家庭においてもお子さんの頑張りを認めていただき、新学年への意欲につながる励ましの言葉をかけていただければ幸いです。

最後になりますが、保護者・地域の皆様には、この1年間、本校の教育活動に対し多大なるご理解とご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。喜沢小学校の子供たちは、皆様に見守られ支えられる中で、卒業・進級という節目を迎えることができました。

新年度も、子供たち一人一人の可能性を最大限に引き出せるよう、教職員一同教育活動の充実に努めてまいります。今後とも、喜沢小学校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。